

## 平成 20 年度当初予算 施策別概要

### 4 2 1 自然環境の保全・再生と活用

( 主担当部：環境森林部 )

- 42101 野生動植物保全活動の推進 ( 環境森林部 )
- 42102 自然とのふれあいの確保 ( 環境森林部 )
- 42103 河川、海岸の保全・再生 ( 県土整備部 )
- 42104 自然環境保全の研究の推進 ( 環境森林部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) 自然環境を地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用している ( 地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用された自然環境に囲まれ、生活を営んでいる )

#### < 施策の数値目標 >

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
多様な自然環境の保全面積	目標値	-	53,500ha	53,517ha	53,535ha
	実績値	53,485ha	53,490ha		

「自然公園特別地域面積」、自然環境保全地域特別地区面積」、里地里山保全活動計画認定面積」の合計面積

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
里地里山保全活動計画認定団体およびみんなで自然を守る認証団体累計数	目標値	-	29 団体	35 団体	47 団体
	実績値	21 団体	23 団体		

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 県民の自然環境に対する認識の高まりに伴い、里地・里山など身近な自然の大切さが見直されていることから、県民やNPOなど多様な活動団体が主体となった保全活動がより一層重要になっています。
- ・ また、開発などに伴う環境への負荷の増加により、野生動植物の生息環境が悪化しているなど、野生動植物の保護が課題となっていることから、自然環境保全のための調査や情報を整理し、さらに開発などを行う際には自然環境への影響の低減に配慮するなどして、野生動植物の保護をはかる必要があります。
- ・ 一方、山村地域等においては、シカなど鳥獣による農林水産物の被害が拡大してきています。

#### < 平成 20 年度 の取組方向 >

多様な自然環境を保全するため、三重県自然環境保全地域などの管理や、里地里山などの身近な自然を保全する県民による活動を支援します。

「三重県レッドデータブック 2005」で明らかになった希少野生動植物を保全するための普及啓発を行うとともに、特に保護が必要として県が指定した希少野生動植物の保全活動を県民と協働して行い、生物の多様性を確保します。

鳥獣害対策として、農林水産物に被害を及ぼす鳥獣の捕獲や狩猟の適正化を進めます。

自然公園などの豊かな自然と県民とのふれあいを促進するため、自然公園施設の整備や維持管理を行うとともに、被災した大杉谷登山歩道の災害復旧を行います。

河川が本来持っている豊かな自然環境を保全、整備することにより、生物の多様性や生

育空間を確保するとともに、潤いのある水辺空間を創出します。

自然の消波機能と生態系が存在する場である海浜を保全、復元することにより、水と親しむことができる自然豊かな水辺空間を創出します。

森林の持つ水源かん養機能、土砂の流出防止機能などの評価や、機能が高度発揮される森林の管理方法を検討します。

野生動物との共存をはかりつつ、森林被害を軽減するための研究を行います。

#### <主な事業>

自然環境保全対策事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 4 自然保護費)

予算額： 1,566千円 1,558千円

事業概要： 優れた自然環境を有する地域を保全するため、自然環境保全地域の新たな指定や適正管理を進めます。また、里地里山保全活動計画に基づく活動を支援します。

(自然環境保全地域1箇所指定、里地里山活動計画5団体認定予定)

希少生物保全事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 5 野生生物保護費)

予算額： 3,858千円 3,556千円

事業概要： 希少野生動植物の保全のため、県指定希少野生動植物種保護計画を策定するとともに、県民の自発的な自然環境保全行動の促進に向け、生物多様性にかかる情報の提供、外来生物問題についての普及啓発などを進めます。

(保護計画2種策定予定)

生物多様性確保事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 5 野生生物保護費)

予算額： 14,613千円 14,187千円

事業概要： 多様な自然環境の保全・野生生物の保護にかかる普及啓発をはかるとともに、鳥獣保護区等の指定など第10次鳥獣保護事業計画に基づく事業を実施します。また、特定鳥獣保護管理計画に基づき、シカの適正な頭数管理を進めます。

(鳥獣保護区5箇所指定予定)

自然公園利用促進事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 4 自然保護費)

予算額： 27,351千円 26,887千円

事業概要： 県民の自然公園とのふれあいを促進するため、自然公園施設の適正な管理を行います。また、自然公園内での一定の行為を規制し、自然保護に努めます。

(7箇所実施予定)

(新)大杉谷登山歩道災害復旧事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

(第4款 衛生費 第6項 環境保全費 4 自然保護費)

予算額： - 千円 38,196千円

事業概要： 優れた自然の風景地を県民の資産として継承するため、平成16年に被災した大杉谷登山歩道の災害復旧を実施し、適正な保護、管理を行うとともに、その利用の促進につなげます。

(1箇所実施予定)

(一部重) 都市河川改修事業【基本事業：42103 河川、海岸の保全・再生】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 2 河川改良費)

予算額： 780,000千円 850,000千円

事業概要： 洪水等による災害を防止・軽減するため、河川堤防の整備を行います。  
なお、整備にあたっては自然環境や生態系に配慮します。